ニュースパーク（日本新聞博物館）

ご利用案内　小学校用

※新型コロナウイルス対応版

現代のデジタル社会の中では、情報に振り回されるのではなく、確かな情報を見きわめ、活用していく力が大切です。新型コロナウイルスをめぐる情報では、まさにそれが問われています。

日刊新聞発祥の地・横浜にあるニュースパーク（日本新聞博物館）は、展示やプログラムを通じて、新聞の歴史を理解するとともに、現代の情報社会を「森」に例えて、その中を冒険しながら、確かな情報を見きわめる力を育むお手伝いをします。

【新型コロナウイルス感染防止のため下記の対策を実施しています】

●受付、館内、お手洗いなどにアルコール消毒液を設置　●こまめに館内を消毒　●直接手に触れる部分はこまめに清浄　●館内全域で、機械換気設備による換気を実施。さらに、施設内の窓や扉の開放などで換気を強化　●スタッフのマスク着用　●受付へのアクリル板設置

【感染防止のため下記についてご協力お願いいたします】

●児童・生徒や教員に発熱や咳などの風邪症状がないことなどを確認する同意書の提出をお願いしています。同意書は予約時にお渡ししますので、来館時にご提出ください　●マスク着用、せきエチケット、手指の消毒、こまめな手洗いのご指導をお願いいたします　●アルコール消毒ができない方、マスクの着用が難しい方がいらっしゃる場合は、事前にお申し出ください　●ご鑑賞にあたっては、他の利用者や係員と十分な距離（2メートル以上）を空けてくださるようお願いいたします　●小学生のみの来館はご遠慮いただきます

【その他のお願い】

●館内は原則として飲食禁止　●メモをとるときは鉛筆　●写真撮影は原則として常設展示室のみ可

★★★詳しくはお問合せください★★★

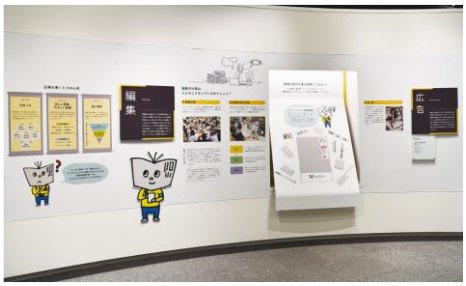
220314

常設展示　確かな情報の大切さを学ぶ

資料約 200 点を使って新聞の歴史を紹介する「新聞のあゆみ」、現代の情報社会のあり方と新聞・ジャーナリズムの役割を学ぶ「情報社会と新聞」、新聞が届くまでの流れが分かる「新聞を知ろう」という3つのゾーンで構成しています。歴史と現代の両面から、確かな情報の大切さと新聞の役割を学ぶことができます。2022 年 3 月には「情報の森の冒険（クエスト）」をテーマに、情報との接し方をより実践的に学べるよう常設展示を一部刷新しました。

新聞のあゆみ

情報社会と新聞



新聞を知ろう

学びをサポート

取材体験ゲーム
「横浜タイムトラベル」

タブレット端末を使ったゲーム。選択式の操作で、横浜の歴史を取材し、新聞づくりを体験します。

記者 MEMO（ワークシート）

記者の取材メモ帳型のミニワークシート「記者 MEMO」をご用意（「取材クルーズ」用のワークシートもご利用いただけます）。

新聞博物館学習キット（新博キット）

学校で授業や調べ学習に使えるよう、資料や新聞記事をテーマ別にまとめた貸し出しキットがあります。神奈川県の司書教諭、学校司書の協力を得て作成しました。また、新聞閲覧室で配架を終えた新聞約 120 紙（新聞協会加盟新聞）も提供しています。

展示解説

常設展示室の展示内容をご説明します。

団体向けプログラム

学習指導要領に即した学び
要予約　所要時間６０分

学校などの団体見学では、「パソコンで新聞づくり」「新聞レクチャー」「取材クルーズ」の3つのプログラムの中から1つをご利用いただけます。小学4年生、5年生の国語科「新聞を作る・読む」、5年生の社会科「情報産業としての新聞」を発展的に学習できるほか、情報リテラシー、情報モラルを学べます。※写真はコロナ禍以前の様子です

パソコンで新聞づくり

パソコンを使って新聞を作るプログラムです。
90字の記事を入力し、見出しを付け、記念写真をレイアウトすれば、オリジナル新聞の完成です。刷り上がった新聞を記者出身の新聞製作マネジャーが講評します。
「書く力、伝える力」を身に着けるのに最適です。

・パソコン20台で実施します。１人１台です。
・記事の原稿は運動会、クラブ活動、文化祭など身近なテーマでご用意ください。
・記事と見出しは１グループに１種類ご用意ください。

［人数］　最大20人

新聞レクチャー

記者出身の新聞製作マネジャーが「文章の書き方」「新聞の読み方」「情報産業としての新聞」などを解説します。
また、学校で作った新聞をお持ちいただければ、紙面構成、見出し、記事についてアドバイスします。
記者の実体験を交えて新聞作りのノウハウを伝え、子供たちの表現力を伸ばします。校外学習等のまとめで新聞づくりを行う際にも役立ちます。

【レクチャーのテーマ】
「新聞をつくろう」「新聞を読もう」「情報産業としての新聞」「目指せ！新聞博士」「新聞クリニック」

［人数］　最大 40 人

取材クルーズ

記者になって常設展示のポイントを５～６人のグループで取材する「対話型」プログラムです。
学習テーマに合わせてワークシートをお選びください。
答えをすべて見つけたら、スタッフに「取材報告」をしてもらいます。スタッフと対話することで、理解を深め、学習効果を高めます（感染拡大防止のため、展示解説または全体での振り返りに変更することがあります）。
ワークシートは下記の３テーマ・計８種類です。

【ワークシートのテーマ】
・歴史から学ぶ情報と新聞
・情報社会と新聞・ジャーナリズム
・新聞が届くまで

［人数］　最大 40 人

【大規模校・小規模校の先生方】
上記の人数より多い場合、グループ分けや他館の見学を組み合わせるなどして対応可能な場合があります。人数が少ない場合でも予約状況次第で対応します。まずはご相談ください。

マイ新聞づくり（個人向け体験プログラム）

見学時間が短い場合や、低学年で長文を打つのが難しい場合は、自分の名前を入力し、写真を載せる「マイ新聞づくり」を体験いただける場合がありますので、ご相談ください。
［所要時間］　２0分

見学モデル

	１組	２組
10:00	団体プログラム	３班に分かれ見学
11:00	３班に分かれ見学	団体プログラム
11:30	昼食	
12:00	３班に分かれ見学	昼食

昼食場所のご案内

校外学習でお越しいただく団体の方は、昼食場所として3階の多目的ルーム（写真）をご利用いただけます。事前予約制となりますので、見学とあわせてお申し込みください。

【利用可能時間】
①11:00～11:30　④12:30～13:00
②11:30～12:00　⑤13:00～13:30
③12:00～12:30　⑥13:30～14:00

【収容人数】最大40人
・40人以上の団体の場合はグループ分けしてください
・学校団体に限りご利用いただけます
・ご利用時間内は、引率責任者の先生が常駐してください
・昼食後の清掃にご協力ください

見学のお申し込み

電話でお申し込みください。スタッフがご希望の内容を伺い、予約状況を確認します。その後、メールまたはファクスで予約申込書をお送りします。

【お申し込み／お問い合わせ先】
TEL: 045-661-2040
（受付時間　10:00～17:00）

・下見を希望される場合は、電話でご予約のうえご来館ください。入館料は無料です
・当館専用の駐車場はありません。貸切バスでお越しになる場合は、事前に横浜情報文化センター駐車場をご予約ください（横浜情報文化センター管理事務所　電話：045-664-3737）
・各教科の研究会など、教育関係者の会合にも会場を貸し出しています

みなとみらい線「日本大通り」駅3番出口に直結しています。同じ建物内には「放送ライブラリー」があるほか、神奈川県庁まで徒歩約3分、神奈川県警まで徒歩約7分です。

【開館時間】　10:00～17:00（入館は 16:30 まで）
【休 館 日】　月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は次の平日）、12 月 29 日～ 1 月 4 日
【入 館 料】　中学生以下無料、一般 400 円、大学生 300 円、高校生 200 円
・20 人以上の団体は 100 円引き
・校外学習の引率の先生方は、学生・生徒・児童と同じ料金で入館いただけます
・障害者手帳をお持ちの方と、付添の方お一人は無料です
【アクセス】　・電車でお越しの方　みなとみらい線「日本大通り駅」3 番情文センター口直結
ＪＲ・横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩 10 分
・車でお越しの方　首都高速「横浜公園出口」から約 3 分

ニュースパーク
日本新聞博物館
〒231-8311
神奈川県横浜市中区日本大通 11　横浜情報文化センター
電話　045-661-2040　FAX　045-661-2029
https://newspark.jp